

## ご案内状

農業技術クラブ 御中  
文部科学記者会 御中  
道政記者クラブ 御中  
札幌市政記者クラブ 御中

平成30年12月26日



### 農業・食品産業技術総合研究機構/立命館大学 共催シンポジウム 農業革新

#### ー自動化・ロボット化は何をもたらすか？ー

標記シンポジウムについて、下記のとおり開催しますので、報道機関の皆様にも多数ご参加いただきたく、ご案内いたします。

#### 開催趣旨

日本の地方では、農業人口の減少による労力不足が深刻化しています。農業の競争力を高めるとともに、魅力ある産業へと進化させるために、スマート農業の代表とされる自動化・ロボット化技術に大きな期待が寄せられています。農研機構北海道農業研究センターや立命館大学が取り組む農業ロボットの研究プロジェクトについて、その研究開発の背景や現状を広く知ってもらい、そして新技術を現場へ定着させて地域の維持発展へとつなげるためには、研究開発のみならず地域での活用面において人材の育成がきわめて重要です。

そこで、自動化・ロボット化の研究開発の現状と背景についてご紹介するとともに、活用面での人材育成について皆様の理解と議論を深めるため、以下のとおり共催シンポジウムを開催します。

1. 日時 : 平成31年1月23日(水) 12:00~17:00
2. 場所 : ステーションコンファレンス東京 602  
東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー6F
3. 内容等 : 別紙のとおり
4. 主催 : 農研機構、立命館大学
5. 対象 : 生産者、生産者団体、行政・普及機関関係者、関連企業、試験研究機関関係者等
6. 参加料 : 無料
7. 定員 : 260名(先着順)

※本ご案内につきましては、報道機関の方を対象としています。

※ご取材いただける場合は前日までに下記までご連絡をお願いいたします。

#### 連絡先

立命館大学 総合企画部 広報課 石川、名和

TEL 075-813-8300 Fax : 075-813-8147

農研機構北海道農業研究センター 企画部産学連携室

TEL 011-857-9260 e-mail: kita-semi@ml.affrc.go.jp

# 農業革新

自動化・ロボット化は  
何をもたらすか？

# 新

2019 | 1 | 23 (水)

ステーションコンファレンス東京 602  
東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー 6F

Session 1 **これからの農業とロボット研究**

- 12:00 **スマート農業の推進について**  
青山豊久 (農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究総務官)
- 12:10 **農業・食品分野に係る Society 5.0**  
久間和生 (農業・食品産業技術総合研究機構 理事長)
- 12:30 **ロボット研究と人材育成**  
金出武雄 (カーネギーメロン大学 ワイタカー冠全学教授)

Session 2 **農業の現状と課題**

- 13:20 **農業の現状と課題**  
村上則幸 (農研機構 北海道農業研究センター 大規模畑作研究領域領域長)
- 13:50 **北海道鹿追町の労働力現状と野菜の省力化**  
今田伸二 (鹿追町農業協同組合 営農部 審議役)
- 14:10 **果実生産の現状とジョイント栽培の可能性**  
柴田健一郎 (神奈川県農業技術センター 生産技術部 主任研究員)
- 14:30 **水稻栽培の現状と大規模複合経営**  
福原昭一 (有限会社フクハラファーム 会長)

Session 3 **農業の自動化・ロボット化開発**

- 15:10 **農業の自動化・ロボット化開発**  
深尾隆則 (立命館大学 理工学部 教授)
- 15:40 **果樹園自動走行車**  
今井浩久 (ヤマハ発動機株式会社 UMS開発部 主査)
- 16:00 **トマト自動収穫ロボット**  
長谷川貴巨 (株式会社デンソー FA事業部 担当係長)
- 16:20 **自動運転フォークリフト**  
横町尚也 (株式会社豊田自動織機 技術・開発本部 開発第二部 室長)
- 16:40 **農業用無人運搬トラック**  
前田元気 (スズキ株式会社 開発本部 システム開発課 係長)

人口減少が進む日本の地方において、農業の競争力を高めるとともに、魅力ある産業へと進化させるために、自動化やロボット化への期待は非常に大きくなっています。その研究開発の背景と現状を広く知っていただくために、シンポジウムを企画しました。また、新技術を現場へ定着させて地域の維持発展へとつなげるためには、研究開発のみならず地域での活用面においても、人材の育成が重要です。そこで、関係諸氏にお集まりいただき、理解と議論を深める機会としたいと考えています。

**参加申込** 締切：2019年1月16日(水) ※先着260名

参加ご希望の方は 下記URLよりお申し込みください。

<http://bit.ly/agri190123>

